

上智大学グリーンクラブ OB会ニュース

2006年度 第1号
2006年6月17日発行

会長挨拶

佐野 鑛治 (昭和39年卒)

2006年のOB会総会が5月28日(日曜日)11:00、上智大学I号館403教室で開かれました。オールソフィアンの集いで華やかなキャンパス風景は例年通りでしたが、上智会館が取り壊され、改築工事が始まっていました。

25名余りの会員・役員の出席を頂き総会議事を無事終了したことをご報告致します。会の冒頭に、一同で、故 北村協一先生を始め、前会長 堀川 均さん、杉山 義さん(昭35年卒)、等物故した方々のご冥福を祈り、黙祷を捧げて、議事に入りました。

今総会で、特に私からご報告しておきたい点は、会の財政につき、会費徴収の努力が不足予算の80%前後に止まったこと。支出は、ホームページの立ち上げ諸費を今期一括処理したこと、そして、北村協一先生の加療中のお見舞い、その他委員会活動の活発な動きもあり、期末に、次期繰越金が殆どないと云う結果になりました。新年度の課題と捉え改善に努力いたします。

また、会則案がグリーンライフ委員会のご努力で提示されました。OB会名簿の第1番目の上田先輩は昭和11年卒と云うことですから、70年近く会として活動が営々と継続してきて、今更という向きもありましたが、これから後のため、今日までの活動を尊重し、整理して、試案として提案の上 ご了解を頂きました。会則は重要ですので皆様のご意見を頂き、時間をかけて次回総会で、再度、御審議頂く積もりであります。

新年度は、金子チーフマネジャーを筆頭に新役員一同で協力し、会の発展のため、努力して参ります。既に始まっているDuhaupas100人演奏会の練習、9月には田中登志生先生の還暦祝い、12月3日はイグナチオ教会でザビエル記念ミサでの演奏、新年2月に協一先生の追悼演奏会への参加と、忙しい日程が予定されておりますので、積極的なご参加をお願い致します。

最後に、去る4月30日、イグナチオ大聖堂にて営まれた協一先生お別れ会に際し、多くの方々にご参列下さいました。この会上智グリーの負担分をOB会会計とは別に、有志の方々で対応致したく、供花代として一口2,000円を、今年度の会費と併せて納入して頂ければ幸いです。本年度も宜しくご協力、ご支援下さるよう重ねてお願い致します。

OB 会総会報告

チーフマネージャー 金子 澄人 (平成 4 年卒)

今期チーフマネージャーの金子です。昨年度活動実績及び今年度活動計画・マネージャー人事について報告いたします。昨年度は 3 委員会活動・HP 立上げ等、現役支援、OB 会活動活性化のスタートアップの年だったかと存じます。今年度はデュオハ演奏会に向けた練習開始、田中先生の還暦のお祝い、北村先生追悼演奏会等盛りだくさんではありますが、OB の皆様方には是非ともご協力・ご支援ならびにご意見を頂きたく、今後ともご指導の程、よろしくお願い致します。

1. 2005 年度活動報告

内容	時期	内容	時期
OB 会総会	5 月	HP 開設	12 月
ファミリーパーティー	5 月	デュオハ全曲演奏会事務局立上げ	1 月
OB 会ニュース発行	年 5 回	名簿更新及びメーリングリスト移行作業	2 月
デイエス神父 追悼ミサ	10 月	フルマン勧誘支援	4 月
現役定期演奏会支援	12 月	北村先生を偲ぶ会	4 月
OB 会忘年会(現役定期演奏会当日)	12 月		

2. 2005 年度会計報告及び 2006 年度予算案 (別紙の通り)

3. 2006 年度役員

	卒年	担当	卒年	担当	各委員会		卒年	担当
名誉会長	S22	新納春雄	-	-	デュオハ	事務局長	S39	池田宥三
会長	S39	佐野鑛治	-	-		副事務局長	S40	荻野徹弘
副会長	S39	川島信	S40	古賀正昭		運営主管	S40	原健之
チーフ	H4	金子澄人				技術主管	S39	川島信
総務	H4	待井欣一	H5	堂本周助		運営副主管	S47	上田哲也
財務	H7	鈴木飛鳥				技術副主管	S44	中尾照夫
広報	H8	小倉充朗	H16	鈴木聡一郎		現役対策	委員長	S40
	H5	中谷和史	H6	吉澤宏明	担当		H10	川村大介
現役担当	H10	川村大介	S40	荻野徹弘	OB ライフ	委員長	S35	田中立夫
アドバイザー	H1	馬場教昌				副委員長	S37	加藤泰二郎
特務担当	S35	田中立夫	S37	加藤泰二郎		担当	S40	古賀正昭
	S39	池田宥三				担当(HP 名簿)	H5	中谷和史
会計監査	S62	吉田建樹				担当(コンテンツ)	H8	小倉充朗
						担当(HP)	H16	鈴木聡一郎
						担当(HP)	H6	吉澤宏明
						名簿	S38	宮島英二郎
					資料編纂	S38	生田隆一	

4. 2006 年度活動計画 (案)

内容	時期	内容	時期
OB 会総会	5 月	現役定期演奏会支援	12 月
ファミリーパーティー	5 月	OB 会忘年会(現役定期演奏会当日)	12 月
OB 会ニュース発行	年 4 回	北村先生追悼演奏会	2/24
田中先生還暦を祝う会	9 月	フルマン勧誘支援	4 月
サビエル祭ミサ出席	12 月		

OB会総会、ファミリーパーティーのご報告

待井 欣一（平成4年卒）

去る5月28日（日）のソフィアンズデーに、例年どおり1-403教室にてOB会総会、その後女声合唱団OG会の皆様とファミリーパーティーを開催いたしました。

総会では途中、グリー現役顧問の長町先生がお見えになりご挨拶の言葉を頂きました。

ファミリーパーティーでは毎年恒例のビンゴ大会、グリー現役、及び女声合唱団OG会からそれぞれ歌の披露などもあり、楽しいひと時を過ごしました。

来年もソフィアンズデーにファミリーパーティーを開催する予定です。

多くの方々の参加を心よりお待ちしております。

現役便り

現役部長 相川 明久

現役部長の相川です。OB会の諸先輩の方々には、日々大変お世話になっております。特に、デュオパの練習で、毎月先輩方とお会いし、声を合わせる貴重な機会をいただいております、男声合唱の良さを深く感じると共に、先輩方の素晴らしい歌声から、歌い手としても多くのことを学ばせていただいております。

現役の現状としましては、本年度3名でのスタートから、各方面を回り、何とか7名まで部員を増やすことが出来ました。これもひとえに様々な面でご助力下さったOBの方々のおかげでございます。ありがとうございます。

しかし、部員が増えたとはいえ、まだまだ新生は少なく、部の存続に不安があることには変わりはありません。今後もOBの方々との連携をはかりながら、多くの人に男声合唱の素晴らしさを伝え、一人でも多くの人にグリーに興味を持ってもらうよう、頑張っていきたいと思っております。

まだまだ未熟な部長ではありますが、先輩方の暖かいご指導・ご協力の中で、少しずつ成長させて頂いております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

お知らせ

上智大学グリークラブホームページ

<http://www.sophia-gee.com/>

上智グリーOB、現役部員対象のメーリングリスト

現役及びOB対象のメーリングリストを運営中です。

メーリングリストに登録希望の方は、卒年、お名前、登録アドレスを明記の上、以下アドレスにご返信下さい。

E-mailアドレス：info@sophia-gee.com

「デュイオーパ荘厳ミサ全曲100人演奏会」

事務局長 池田宥三（昭和39年卒）

いよいよ練習開始！

お蔭様で順調に船出する事が出来ました！

平成18年5月28日

【北村先生のご逝去】

4月22日、1号館408教室。出席者全員で故北村協一先生のご冥福をお祈りし、先生のご遺志を全うする事を誓って、黙祷から練習が始まりました。前日は何人の人が集まって頂けるか不安で、久しぶりに眠れない夜を過ごしました。昨年の総会で当プロジェクトの委員会設置の御了解を頂いてからこの一年の早かった事、その間幾多の問題が有りましたが、何とか4月22日を迎える事が出来た時は感無量でした。これも事務局委員の方々を始め佐野会長、マネージャー各位のご尽力の賜物と感謝致します。

「北村先生のご逝去」これには私も目の前が真っ暗になりました。演奏会云々よりも先生を失ったこと、その悲しみに打ちひしがれてしまいました。ただ、ただご冥福をお祈りすることしか出来ませんでした。

先生がまだご存命だった2月5日、演奏会の打ち合わせで五反田のご自宅にお伺いした時にデュイオーパの事、上智グリーの事、そして2007年の演奏会の事を熱く語られた事を思い出します。又、3月9日、亡くなられる4日前に2007年のデュイオーパ演奏会を心配されて、関学・同志社・立教・上智の4校を呼び集め、ミッション系の4校で互いに助け合うようにと指示されようとなさいました。（その時はすでにお力が無く、お会い出来ませんでした。）

3月13日ご逝去。続くご葬儀で50年ものながきに亘り音楽をともにされた畑中先生の弔辞をお聞きし、そして先生の生きざますべてをご存知のお兄様のお話を伺いし、改めて北村先生のご遺志に触れた思いがしました。病魔をおして大阪へ行かれ車椅子で鬼気迫る最後の演奏をされた先生は、それと同じように、何としても我々との「デュイオーパ荘厳ミサ」の演奏会を完成させたかったのだと。それが先生の思いだったのだとー。

先生が亡くなられた以上、デュイオーパは歌いたくない。北村協一のデュイオーパ以外は歌えないと仰る方が何人かいらっしゃいます。お気持ちは良く理解できます。でも、我々が及ばずながらも先生のご遺志に応え、少しでも先生の域に達するように努力する事を、先生も喜んで頂けるのではないのでしょうか。このたび快く指揮を引き受けていただいた北村先生の教え子、太田務先生も次のように仰っています。

「私達の間には北村先生の＜蒔かれた種＞を大事に育てて行き、大きな実りの有るものとして、このプロジェクトを成功させる一助となるよう頑張ります。」

協一先生の為に、我々の為に一緒に歌いましょう。

【デュイオーパ荘厳ミサ曲、指揮者、太田 務先生で決定！】

かねてから懸案であった指揮者に、太田 務先生をお迎えする事に決定致しましたのでお知らせ致します。太田先生は関学グリーご出身で、二度のアメリカ留学でイリノイ大学博士過程を終了されており、グレゴリア聖歌から現代音楽まで幅広く全てのジャンルに対応できるアプローチを学習され、現在東京、大阪、神戸で活躍されています。又、合唱指揮を故北村協一先生にも師事されており、デュイオーパのステージには最適の先生としてお願い致しました。

アラウンド、SVEなどでもご活躍で、我々上智グリーでも10数年前に現役がお世話になったという縁あさからぬ先生です。プロフィールは別途掲載致します。

5月19日音楽技術面の打ち合わせを行い、万全を期して10月からご指導頂く事になりました。尚、音楽面での細かい注意、ご意見は追って当事務局音楽技術委員会からお知らせ致します。

【第1ステージ〈柳河風俗詩〉で決定！】

皆様からのアンケートをもとに田中登志生先生と相談の結果、第1ステージは「柳河風俗詩」で決定致しました。これに伴い「デュイオーパ荘厳ミサ曲」とともにアンコール曲を決定後、全部を一冊に纏めて楽譜を作り、参加者にお渡し致します。

【すみだトリフォニー大ホールで決定！】

演奏会の日時、場所が正式に決定しました。

すみだトリフォニー大ホール

2007年10月8日（月・祭）午後2時開演予定

【演奏会の名称について】

演奏会の名称については、現在まで「デュイオーパ荘厳ミサ全曲100人演奏会」としてきましたが、

- 1) 上智大学100周年記念
- 2) 北村協一先生追悼
- 3) 100人演奏会

などをどうするかを今後の問題として全体の名称を再検討する事に致しました。

ご意見など御座いましたら事務局まで。

【参加者募集について】

現在、正式参加者**64**名。

現役参加者予定、口頭での参加意志を示している方、などを合せると75名～80名以上が読めておりますが、後もう一息と言ったところです。

学年幹事の方々もう一度、呼びかけをお願い致します。

アマディウス合唱団、聖歌隊に呼びかけを致します。

関西地方の方々、そろそろお願い致します。特に太田先生は神戸在住ですので何かとご指導も頂けると思いますので奮ってご参加ください。

川村大介、鈴木聡一郎両君の力作、練習CDが好評です。大変練習しやすく出来ております。遠隔地でも自主練習が可能です。ご相談下さい。

最後に、トップテノールの方々特にご参加お願い致します。パートのバランスを考えると、もう少し人数が必要です。ご協力お願い致します。

【参加費の納入・協賛金について】

参加費の納入に付いては別途お知らせのとおりですが、申し込み金 10,000 円について未納の方がいらっしゃいます。会計の方から改めてご連絡致しますので宜しくお願い致します。

会計報告に付きましては7月末参加費納入が済みました段階で、別途中間報告させていただきます。

又、企画にご賛同頂きながらどうしても参加できない方を中心に一口 10,000 円の協賛金をお願いしております。どうぞ宜しくお願い致します。

以上

太田 務先生・プロフィール

広島県出身。 崇徳高校卒業後、関西学院大学理学部に入学しグリークラブに所属、最高学年時に学生指揮者を務める。 1993 年、アメリカ・ニュージャージー州プリンストンの Westminster Choir College にて修士課程 (Master of Music in Choral Conducting) を優秀な成績 (With Distinction) で修了。 同時に、全米名誉音楽家 (Pi Kappa Lambda) などのメンバーに選ばれる。 1995 年に再渡米し、イリノイ州の University of Illinois at Urbana-Champaign にて博士課程 (Doctor of Musical Arts in Choral Conducting and Literature) を 2002 年に修了。 在学中、1997 年にカリフォルニア州サンディエゴで開催されたアメリカ合唱指揮者協会 (American Choral Directors Association) 主催の全国集会の一環で行われた指揮者コンクールのファイナリストに選出される。 二度の渡米を通し、グレゴリオ聖歌から、ルネサンス、バロック、クラシック、ロマンティック、現代音楽全てのジャンルに対応できるアプローチを学習し、特にルネサンス多声音楽、ロマン派のパートソング、および現代音楽一般の研究・演奏に強い関心を持っている。また近年では宗教音楽の演奏に携わる事が多く、モテットやミサ曲の研究にも多くの時間を割いている。

現在、東京・大阪・神戸でプロフェッショナルやアマチュア合唱団と活動中。(財)神戸市演奏協会・神戸市混声合唱団では、副指揮者として定期演奏会のリハーサル・コンダクターを務める傍ら、学校依頼公演および「マンスリー・ミニコンサート in しあわせの村」等の選曲・指揮に携わり、好評を博す。同合唱団による、神戸市内の全小学校を網羅する平成 12・13・14・15 年度移動芸術劇場・オペレッタ「あまんじゃく と うりこひめ」公演の指揮を平成 16 年 1 月で完了 (全 110 公演)、平成 16 年春からはファンタジック・オペラ「泣いた赤鬼」で再巡回を開始し (42 公演終了) 本日に至る。

合唱指揮を故・北村協一、Joseph Flummerfelt、Fred Stoltzfus、合唱文学を Allen Crowell、Chester Alwes、声楽を Louis Laverty、Ronald Hedlund、オーケストラ指揮を Donald Schleicher、作曲を Stefan Young 各氏に師事。

財団法人神戸市演奏協会・神戸市混声合唱団副指揮者。関西学院グリークラブ指揮者。大阪教育大学、甲南女子大学非常勤講師。